

「源流の生活でCO2を減らす方法を地域づくりとともに考える」プロジェクト

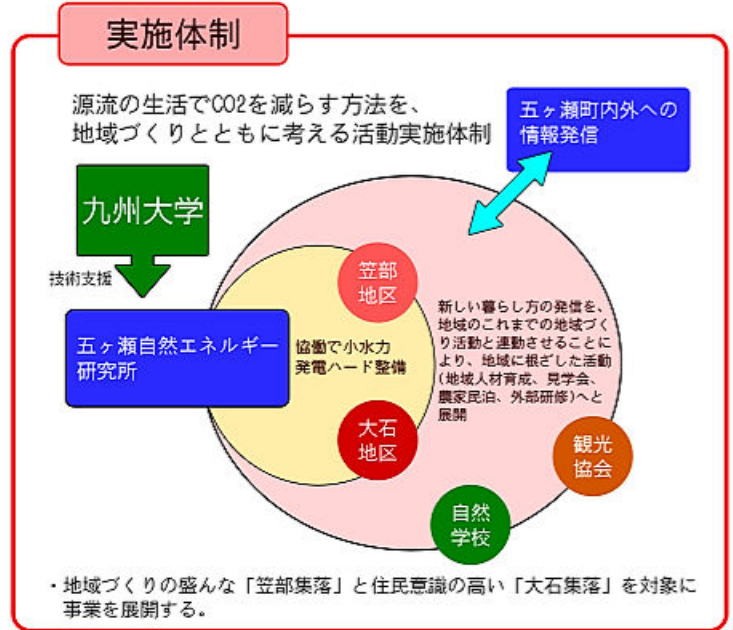
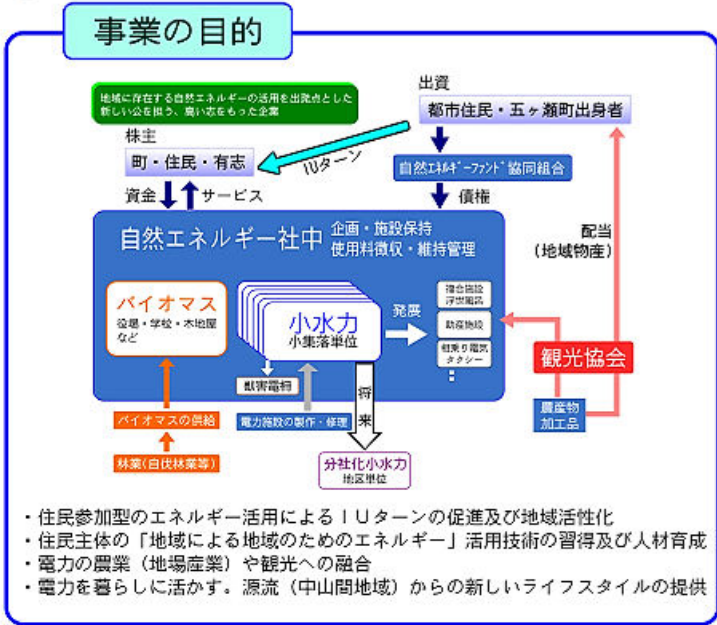
小水力発電と連動した元気な地域を未来へ贈る ～ 宮崎県五ヶ瀬町の取組 ～

九州大学大学院工学研究院 島谷研究室 / 五ヶ瀬自然エネルギー研究所

これまでの取り組みと活動背景



事業目的と実施体制



活動内容

笠部集落

笠部集落の地域づくり拠点

水の駅

湧水を活用し、多くの利用者で賑わう「水の駅」を中心としたフットパス（自然散策コース）の活用。学習会の実施及び小水力発電機の設置（照明等への活用）

専門家、地元の方との協議 発電機設置の様子 稼働中の小水力発電機

大石集落

大石集落の地域活動拠点

大石公民館

大石地区は、若者がリードし、環境学習など地域活動が盛んである。地区民を巻き込んだ小水力のデモンストレーションで自然エネルギーを活用した暮らし方への意識の高まりが見られた。

集落の方々との協議 小水力発電機設置の様子 発電された電気で灯る電灯

新たな自然エネルギーの模索

小水力発電事業を通じて新しい暮らし方への関心が高まる中で、新しい自然エネルギーへの取り組みも始められました。

五ヶ瀬町の主要産業のひとつである林業に注目し、薪や廃材などの燃料（バイオマス燃料）を使用する簡易コンロ（通称、ロケットコンロ）作製です。

一般的な家庭でも容易に手に入る素材を使って作れるものから、本格的な実用化、製品化を目指した試作品などが作製されており、小水力発電事業に並ぶ新たな自然エネルギー活用法として注目されています。

ロケットコンロ作成の様子 オイル缶で作ったコンロ 実用化に向けた試作品

課題の抽出

1. 新しい暮らし方の発信 小水力発電とCO2削減が生活の中で結びつかない
2. 地域づくりとの連動 将来イメージが描けない、小水力発電と地域づくりの連動ができない
3. 人材育成 地域に即じた発電機器の製作、設置指導者、案内者の育成
4. 住民意識の改革 学習会、見学会、説明会、他の組織への情報発信の継続
5. 情報共有 再生エネルギー・CO2削減に取り組む組織の情報発信不足
6. 住民協議会 町内の状況を把握し、情報を収集、配分する住民協議会の組織化
7. 地域個性を生かした発電機器 地勢による機器の選別や、適正な価格や機器選定のできる人材の不足

今後の取組と効果

- **小水力発電機の設置**
 - ・小水力発電による地域振興を進めるために、町内各所に小水力発電機器を整備する。
 - ・再生可能エネルギーを暮らしに活用することで、エネルギー削減からCO2削減に繋がる意識改革を図り、中山間地での「新しい暮らし方」を提案する。
- **地域づくりへの波及**
 - ・エネルギー削減、CO2削減による「新しい暮らし方」を実践することで、地域に協議の場、交流の場が生まれ、地域課題抽出と解決を図っていく。
 - ・地域振興策を拡充することによる合意形成によって全町民参加による地域づくりを目指す。